



伊丹市保護司会だより

第68号 もくじ

- P1…新しいお仲間の確保のために
地域のチカラ「スクールきると伊丹校ってなあ〜に?」
- P2…犯罪のない街づくりを目指して
- P3…生きづらさに寄り添う
- P4〜5…第76回社会を明るくする運動
- P6…保護司のつづき・校区のイチ推し!
- P7…会員動静・総会・研修
- P8…伊丹の幼児教育紹介

新しいお仲間の確保のために



神戸保護観察所長

猪間 徳子

伊丹市保護司会の皆様には、平素から更生保護の諸活動に多大なる御尽力を賜り、

厚く御礼申し上げます。

残念なことに直接皆様にお会いして御挨拶させていただく機会を逸してきておりますが、今春の人事異動により、さいたま保護観察所から転任してまいりました。当庁勤務は2度目、ちょうど10年ぶりとなります。近畿地方の文化に不慣れということもあり、至らぬ点が多々あるかと存じますが、各種職務に誠心誠意取り組んでまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

伊丹市は、交通至便でありながら自然も豊かで、若年層の転入者が多く、昨年の人口増加数は県内1位だったとのこと、とても活気のある地域であることがうかがえます。その分、事件数も増えておりますが、保護司さんの数が少なく、お一人当たりの事件担当件数が県内最多となっております。

ります。皆様にかかる御負担の重さを考えると、何とか新規のお仲間を増やしていきたいところですが、いわゆる「地の人」が減り現役世代の転入者が多くなっているとなると、その確保には相当苦慮されていることと拝察します。市役所のデジタルサイネージを利用した保護司の広報や、夜間休日にも使用可能な面接場所の多数確保等、伊丹市の御協力も得て行われている様々な御努力が、結果につながっていくことを願っています。

御承知のとおり、本年12月に施行予定の改正保護司法においては、現役世代の方が活動しやすいための環境整備が図られ、保護司活動をボランティア休暇制度の対象とすることや、保護司であることを理由に不利益な取扱いをしないことを、保護観察所から保護司候補者や現役保護司の皆様の勤務先に働き掛けることなどもできるようになりました。我々といたしましても、適任者確保のための方策について、皆様の御要望をお聞きしつつ、共に考え、力を尽くしてまいりますので、引き続き御理解・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

地 域 の チ カ ラ No.6

スクールきると伊丹校ってなあ〜に?

場所:伊丹市中央3-1-17 SRビル伊丹1階

スクールきると伊丹校は、伊丹市中央にて障がい福祉サービスを展開しています。障がいを持つ18歳以上の若年層の方々が、様々な経験を通して、就労の準備を進める事業所となっております。

様々な経験の中には、座学ばかりでは無く見学や外出、実習等もたくさんあり、将来における選択肢が広がるように利用者が経験を進めています。地域の活動にも複数参加させていただいています。「荒村寺のまちカフェ」では、注文を取ったり、コーヒーを運んだり、「いたみっ子だんらん食堂」では、食事の下準備やおやつのだい入れ等、また、「フードシェアリング」では、集まった食材を期限毎に仕分けたりと多くの実習の機会をいただいております。今後とも障がいを持っていても社会で活躍できるよう、地域の皆様に御協力いただきながら活動を進めて参ります。



犯罪のない街づくりを目指して



伊丹警察署長

大 下 泰 史

この春の人事異動で伊丹警察署長に着任いたしました大下です。どうぞよろしくお願いいたします。平素から警察業務に関し深い御理解と御支援を賜り心より感謝申し上げます。

伊丹警察署での勤務は今回が初めてですが、市内は、昆陽池など自然を感じられる公園が多数点在し、また、清酒発祥の地と言われるなど文化的な一面もあり、非常に住みやすい街だと感じておりますとともに、この地の治安を守る重責を日々実感しているところであります。

さて、伊丹市内の犯罪情勢を見てみますと、近年は、犯罪発生全体で見れば大幅な増減はありませんが、投資詐欺やロマンス詐欺を含めた特殊詐欺については、増加の一途を辿っており、昨年の市内の被害総額は約11億円と過去最大を更新する事態となってしまいました。

一方、少年の非行情勢を見てみますと、近年は、少年犯罪が増加傾向にあり、特に暴行事件や窃盗事件といった犯罪が大幅に増加している状況にあります。

更には、皆様も御承知の通り、若年層を中心とする大麻乱用の問題や闇バイト強盗の問題、SNSに起因する性犯罪の問題なども大きな社会問題となっております。

また、年齢別で見えますと、近年、14歳未満の少年犯罪が激増しており、犯罪の低年齢化が加速している状況にあります。

このような状況の中、伊丹警察署では、検挙・

補導活動を強化しているほか、予防面では、例えば、詐欺対策として、特殊詐欺対策アプリの導入や固定電話機に対する外付けの自動録音装置の無償配付を広く推奨したり、少年非行対策として、非行防止教育を一層推進するなどの諸対策を推進しているところであります。

ただ、犯罪そのものを発生させないためには、警察の取り組みだけでは大きな成果は得られません。

地域の皆様や関係機関の皆様、そして、保護司の皆様とが一体となって、「犯罪を生まない社会づくり」に取り組んでいく必要があると考えておりますので、保護司の皆様方におかれましては、引き続き、警察や関係機関と連携を図りながら、防犯予防*活動や対象者の社会復帰支援活動を推進していただきますようよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、保護司会の益々の御発展と、皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

*「防犯予防」とは

犯罪が起きてから対処するのではなく、日常の環境整備や行動、地域活動などによって犯罪の発生自体を未然に防ぐ考え方と具体的な取組みを指す



生きづらさに寄り添う



神戸保護観察所
主任保護観察官
後藤 紀子

本年4月から伊丹保護区を担当して、はや3か月以上が経ちました。その間、係属事件数は増加傾向にあり、保護司会の皆様には、既にたくさんのケースを御担当いただいているにも関わらず、「あともう1件」と無理を言って担当をお引き受けいただいたこともありました。皆様方のお力添えに、この場を借りて心から感謝申し上げます。

ここで少し私の自己紹介をさせていただければと思います。私は大学を卒業した後、平成22年に法務省に採用され、平成26年から保護観察官の職に就いています。私が採用された当時、保護観察官の採用枠には「一般職」と「総合職」しかありませんでしたが、私が採用された2年後から、「専門職」という新たな枠が増え、福祉や心理学などの専門知識のある人材が求められるようになりました。さらに、様々な実務経験を有する人の中途採用も盛んに行われ、私の身の回りにも、専門性豊かな保護観察官（病院でケースワーカーをしていた人、矯正施設で福祉支援に携わっていた人、スクールソーシャルワーカーをしていた人 etc.）がたくさんいます。その中で、自分の強みや得意分野は何か、と聞かれると困ってしまうのですが、日頃保護観察処遇を行う中で心掛けていることをあげるなら、毎月保護司の皆様からいただく経過報告書をしっかり読み、今、対象者がどのような状況に置かれているのかをよく知ること、どのような介入や働きかけが必要なのか、担当保護司とよく協議をさせていただき方針を定め

ることでしょうか。当たり前と言えば当たり前のことですが、私自身まだまだ至らないことが多く、さらなる成長が求められるところです。

保護観察を開始した当初、多くの対象者は反省の言葉を述べ、更生を約束してくれますが、残念ながら、元の生活に逆戻りし、同じ過ちを繰り返してしまう人が一定数います。生まれ育った環境や周囲の人間関係、その人の生まれ持った資質など、様々な要因が考えられますが、それが生きづらさとなり、犯罪や問題行動という形になって現れるのだと思います。保護観察を行う意義は、その人自身が生きづらさとうどう向き合い、折り合いをつけて生きていくのかを考えていくことにあるのではないのでしょうか。対象者と向き合い、粘り強く働きかけていくことは容易ではなく、時に上手いかず落ち込むこともあります。私はこの仕事をとてもやりがいのあるものだと思っています。微力ではありますが、これからも、保護司の皆様と共に尽力して参りたいと思いますので、皆様方の御指導、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



のぼり旗・横断幕設置

市内40か所に、のぼり旗約100本と横断幕1枚を設置しました。



伊丹ショッピングデパート横



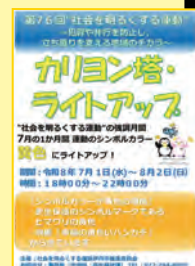
のぼり旗の準備



阪急伊丹駅歩道橋の横断幕

カリヨン塔のイエローライトアップ

JR伊丹駅西側のフランドルの鐘(カリヨン塔)を、強調月間の7月中、シンボルカラーの黄色にライトアップしました。



ジョイフルコンサート(7/12:伊丹アイフォニックホール)

“社会を明るくする運動”伊丹市推進委員会の名誉委員長である中田伊丹市長からの挨拶、石堂委員長からの挨拶があり、続いて、啓発イラスト受賞者の表彰式が行われました。後半は、白ゆり幼稚園コーラス部の元気いっぱい歌と、鼓笛部の素敵な演奏が披露されました。その後、陸上自衛隊第3音楽隊が登場すると会場は凛とした雰囲気となり、ダイナミックで繊細な演奏に来場者は魅了されました。



市長挨拶



表彰式



受賞者の皆さん



白ゆり幼稚園
コーラス部と
鼓笛部



“社会を明るくする運動”
募金活動



関係団体との連携

こちらをご覧ください

法務省公式
YouTubeチャンネル



“社会を明るくする運動”
ウェブサイト



陸上自衛隊第3音楽隊

第76回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。伊丹市においても、7月を強調月間として様々な活動が展開されました。

今年から伊丹市のマスコットキャラクター“たみまる”や“ひこまる”とコラボした“更生ペンギンのホゴちゃん”が、「まちホゴ」としてデビューし、運動のPRを担っています。



伊丹市マスコット たみまる
と
更生ペンギンのホゴちゃん

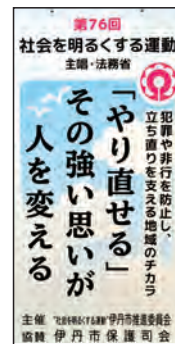


伊丹市マスコット ヒこまる
と
更生ペンギンのホゴちゃんサラちゃん

標語パネルの協賛募集と掲示

市内のたくさんの団体等から協賛をいただきました。

〈標語パネル〉	
☆自治会	…… 54枚
☆企業・商店等	…… 39枚
(協力雇用主会つじ会加入企業・団体含む)	
☆小中特別支援学校	…… 26枚
(保護司会・更生保護女性会・社明構成団体等)	
☆各種団体	…… 77枚
(社会を明るくする運動構成団体・保護司・更女等)	
〈協賛金〉	
企業1件・自治会2件・個人1件・各種団体3件	
どうもありがとうございました。	



啓発イラスト募集と展示

啓発イラストの募集に市内の小・中学生から総数55作品の応募があり、下記の皆さんが優秀賞に選ばれました。7/1～7/11までは伊丹市立図書館「ことば蔵」1階ギャラリーで、7/12にはジョイフルコンサート会場にて「啓発イラスト展示会」を開催しました。

啓発イラストの優秀賞受賞者

最優秀賞	岡田 柚羽 さん(東中学校1年)
最優秀賞	松本 愛凜 さん(桜台小学校4年)
優秀賞	中谷 紗矢香 さん(西中学校2年)
優秀賞	北島 瑞久 さん(花里小学校6年)
優秀賞	桑田 結衣 さん(花里小学校5年)



【中学生の部】岡田 柚羽さん



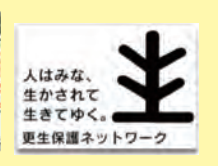
【小学生の部】松本 愛凜さん



ジョイフルコンサート会場にて

街頭啓発(7/1)

JR伊丹駅前、阪急伊丹駅前、伊丹市立図書館「ことば蔵」前で、ジョイフルコンサートチラシとポケットティッシュを配布しました。



小学生の声を聞く会(7/14:池尻小学校)

保護司会・更生保護女性会会員等17名が、6年1組の授業に参加しました。テーマは「安心まちづくり会議～わたしたちにできること～」です。児童は「安全」と「安心」の違いを考えた後、8班に分かれて話し合いをしました。今回初めて、保護司や更生保護女性会会員もグループに入り、「このまちを安心なまちにするため、自分たちにできることはどんなことだろう」と互いに深く考えることができました。最後に各班の児童代表が発表し、全員が共に学ぶ場となりました。



小学生の声を聞く会

中学生の声を聞く会(7/21:松崎中学校)

テーマ「AIの正しい使い方について～子どもと大人それぞれの視点から考える～」に基づき、松崎中学校生徒会所属の生徒、教諭、保護司、更生保護女性会会員等が集まり開催されました。4つのグループに分かれてディスカッションが行われ、各グループの生徒から発表があり【AIの回答を鵜呑みにせず、情報の信憑性を確認する】【学習にAIを活用している】【人間関係についての相談をAIにすることもある】などの意見が出され共に学ぶことができました。



中学生の声を聞く会

公開ケース研究会(7/15:総合教育センター)

窃盗により保護観察となった少年Kの事例を通して、どのように連携・協働し関わったらいいかを考えることをねらいとして、PTA会員、生徒指導担当教諭、少年補導委員、更生保護女性会会員、保護司等70名が参加して研究会が開催されました。

参加者は、資料に基づいて少年の生い立ち(性格、家庭環境、生活歴等)を共有し、4グループに分かれて話し合いをしました。家庭環境及び少年自身が抱える問題や、どのような関わりや支援ができるのかなどについて、熱心な意見交流が行われました。最後に、神戸保護観察所の後藤主任保護観察官より、「非行に陥った少年の自尊心や自己肯定感を育む関わりが大切である。犯罪をした人の生きづらさを知ることも支援であり、地域の中に“居場所”をつくるのが立ち直りの力になる」等の講評をいただき、学びを深めることができました。



全体会



意見交流会



保護司のつぶやき

指導から寄り添い見守るへ

東中グループ 西尾 隆

保護司を拝命して、はや4年目となりました。教職中は生活指導を担当することが多く、保護司の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしまして、あらためて感謝申し上げます。

教員時代に児童生徒と話をしても、中にはなかなか耳を傾けてくれないことも多々ありました。保護司になって対象者と面接することは、責任あり大変ハードルの高いことではありましたが、やってみればとっても話しやすく、自分自身教員時代よりリラックスしているような気持ちになることに気づきました。振り返ると指導はその行為について戒める指導をしていたと反省しています。対象者の面接は過去の事案のことよりも、今後普通の社会生活が普通にできるよう、寄り添い見守るということだと、あらためて気づきました。

今後も先輩方の御指導を賜りながら、スキルアップしていきたいと考えております。

お月様のように

南中グループ 中村 純代

保護司を拝命して、まもなく三年を迎えます。「私にできることは何なのだろう」と自分に問いかけながら、一人ひとりの対象者と向き合っています。

そして今、たどり着いたのは「お月様のように寄り添えたら」という思いです。母のような慈愛をもって、やわらかな光を照らし、夜道を行く人の道標（みちしるべ）となれたなら、とても嬉しく思います。

一方で、月読命（ツクヨミノミコト）は、潔癖で過ちを許さない一面を持つ神ともいわれています。時と場合により厳しさが必要なれば、その時は毅然と向き合えるよう、私も強さを備えていきたいです。

最後に、以前スーパームーンを見上げながら詠んだ拙句を添えます。

月大きければ生きもの歩きだす

純代



南中学校



校区のイチ推し！

御願塚史跡保存会「つむぐ部会」～次の世代に繋がる活動～

御願塚史跡保存会会長 田中 宏和

阪急稲野駅から西へすぐの所にある「御願塚古墳」は5世紀後半に築造されたとわれ、桜並木の堤と水濠の中に佇む美しい古墳です。御願塚史跡保存会は1967（昭和42）年に結成され、地域の歴史遺産であるこの古墳の保全継承と文化財を活かしたまちづくり、その魅力をたくさんの人に伝えること、さらに次の世代に伝えていくことを目指しています。

2024年に発足した「つむぐ部会」には10数名の小中学生が在籍し、毎月の定例清掃で大人と一緒に活動するほか、古墳や地域の歴史を学び《御願塚古墳のガイド》を務める人になりたいと目標を持って活動しています。子どもたちは学習意欲が高く活動に積極的です。清掃時には高齢の会員さん方とも仲良く会話し、掃除の仕方だけを教わるのではなく、昔の御願塚古墳の様子を聞かせてもらっている光景も目にします。4月のツツジまつりでは、クイズラリーの受付や車いすの方の誘導などその場にに応じて対応できる姿に感心させられました。「つむぐ部会」の担当者は子どもたちの自主性を大切に、年間活動計画、研修旅行やイベント時の活動内容を決める際に子ども主導で進めるようにしています。

《地域でつながる》ことが難しくなっているこの時代、地道ですが、子どもたちの笑顔に励まされながら、次の世代に繋がる活動を模索しています。これからも御支援・御協力をよろしくお願いします。

○お問い合わせ………御願塚史跡保存会✉ sisekihozonkai@gmail.com

○活動内容はこちらから…御願塚史跡保存会 facebook



ご苦労様でした

◆満齢退任保護司

栗田 敏男 様

鈴木 稻弘 様

※ ※ 新 会 員 紹 介 ※ ※



逢坂 俊夫

北中グループ 総務部会

少年院教官として拝命し、定年退職後の再任用期間を経て、保護司任命に至りました。全国転勤で培った経験と矯正処遇の人間観を糧に、初心を忘れず地域社会に貢献するとともに、保護司の使命を全うする所存です。



小山 翼

北中グループ 青少年・研修部会

この度、保護司として活動させていただくことになりました。昨年まで行政職員として勤務しており、保護司の方と関わる中で、私も挑戦したいと思うようになりました。生まれ育った伊丹の地で、一人ひとりに全力で向き合っていきます！御指導よろしくお願いします。



白井 洋史

西中グループ 広報部会

今年度は、保護司とあわせて民生委員・児童委員としてもスタートしましたが、法の観点と福祉の観点が互いにより干渉してくれるのではないかと願っております。仕事内容と具体的なスケジュール感を把握できるまでに時間がかかると思いますが、御指導よろしくお願いします。

令和8年度伊丹市保護司会定期総会開催

4月22日(水)総合教育センターにおいて、令和8年度定期総会が開催されました。開会后、全員で『保護司信条』の唱和を行い、保護司としての思いを新たにしました。総会では、中田伊丹市長をはじめ、来賓の皆様より御挨拶をいただいた後、議事の審議が行われ、議案は滞りなく承認されました。

なお、辻田増雄氏（元保護司）が名誉会員に推挙・承認されました。

**伊丹市協力雇用主会「つつじ会」定期総会開催**

6月3日(水)いたみいききプラザにおいて、令和8年度「つつじ会」定期総会が開催されました。

当日は、神戸保護観察所をはじめ、各団体より来賓をお迎えし、参集の会員皆様の御協力のもと、滞りなく議事が進行し閉会となりました。

**神戸保護観察所・伊丹警察署・伊丹市保護司会 連携研修会 開催**

5月20日(水)総合教育センターにおいて、連携研修会が開催されました。神戸保護観察所の後藤主任保護観察官と、伊丹警察署生活安全課少年係の井上警部補を迎え、再犯防止に向けた適切な対応について協議しました。過去事例を基に保護司を交えた活発な意見交換が行われ、各機関とのつながりを深める大変有意義な機会となりました。

**令和8年度第1回ミニ研修会を終えて**

青少年・研修部会

松村 恭子

青少年・研修部会では、保護司同士の情報交換を目的として、本年度は2回のミニ研修会を計画しています。その第1回を、6月10日(水)総合教育センターで開催しました。

はじめに、「中・高・特別支援学校生徒指導担当者会」の概要を報告しました。続いて、「対象者との出会い、面接場面の実践エピソード」をテーマに、参加した保護司がそれぞれの事例や思いを発表し、意見交換を行いました。

一人ひとりの対象者に真摯に向き合い、責任感をもって役割を果たそうとする保護司の姿勢が伝わる、有意義な研修会となりました。



伊丹の幼児教育紹介

㊦さえ合い認め合う ㊧さはらっ子
㊨ずむ心でみ ㊩いへつなごう

伊丹市立さはらこども園 園長 西 里枝子

1 ささはらこども園の沿革

本園は令和4年4月に旧さはら幼稚園、旧せつよう幼稚園、旧こやのさと幼稚園、旧西保育所が統合し、幼保連携型認定こども園として開園しました。現在0～5歳児の220名程が在籍しています。

2 教育・保育方針と指導の重点

(1) さえ合い認め合う子どもを育む

自分を大切にすることが育まれ、互いのよさや違いを認め合い、相手を大切に思う心が芽生えるよう、子ども一人一人のありのままの姿を受け止め愛情深く関わります。

(2) 夢や希望をもち歩んでいく子どもを育む

好きなことを見つける力や自分で気づき考え行動する力が育まれるよう、興味や関心のある物事にじっくりと挑戦できる環境を整え、自分なりの言葉や態度で表現することの喜びが感じられるよう、心弾む体験を大切にします。

3 本園の教育保育活動と特色

(1) 一人一人の「やってみたい」を大切に

子ども一人一人の「面白そう」「やってみたい」という気持ちは、学びや成長の原動力です。一人一人の興味や関心、発達に寄り添い、子どもが自ら選び、考えたり試したりできる環境を整え、試行錯誤を繰り返しながら自信や達成感を積み重ねられるよう教育保育を進めています。



作って浮かべてみよう



作った色水を並べよう

(2) 異年齢との関わり

生活や遊びの中での年齢を越えた関わりを通して、年上の子どもは年下の子どもを思いやり、教えたり手伝ったりする経験を通して優しさや自己肯定

感が、また、年下の子どもは年上の子どもの姿にあこがれ、意欲や挑戦する気持ちが育まれています。



一緒に遊ぶ4歳児と2歳児



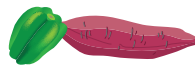
壁のない3～5歳児保育室

(3) 食育

季節に応じて栽培した旬の野菜を収穫し、食べたりクッキングを行ったりしながら食への興味や感謝の気持ちを育んでいます。収穫したサツマイモでスイートポテトやカレークッキングをしたり、玉ねぎの収穫後は、子ども達で相談しスープにして食べることが決まると、作り方を調べて紙に書き調理員にお願いしたりしています。



ピーマンの栽培



玉ねぎの収穫

(4) 地域とのつながり

笹原小学校地区コミュニティ協議会高年者部の方にお手玉やけん玉、こま回しや折り紙などの遊びを教えてもらう交流を通し、子ども達は新たなことに挑戦したり繰り返し粘り強く取り組んだりする姿があります。地域の方からの温かい関わりや言葉のシャワーを浴びて心が豊かになり、いつも見守っていただいていることを実感する機会にもなっています。



地域の方との交流

今後も、日々の遊びや生活を通して子ども一人一人が心弾む経験を重ね、主体性や豊かな感性が育まれるような教育保育を進めていきます。

今年の“社会を明るくする運動”の全国統一テーマは、「保護司をはじめとする、更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」です。「伊丹市保護司会だより」が、読者の皆様にとって更生保護ボランティアの存在や様々な活動の様子を知る機会となり、“安全で安心な社会”について一緒に考えるきっかけのひとつになればと願っています。